

バーチャル科学館 HP構成に関する資料ご提供資料記入シート

記入に際してのお願い、下記のシート1枚につき1件の情報を記載ください。

記入日	2008年8月18日	ご提供いただける資料分野	※2より選択	A	空調
-----	------------	--------------	--------	---	----

■資料の概要

年・月	1965年 月 日	←年は西暦で記入月や日が不明な場合は記入不要です。		年代	1960年
分類	空調設備（空調）	コメント	空調設備工事施工		
※4より選択					
商品名・工法システムなど (100文字以内)	国内初の超高層ビルにおける空調設備工事施工				
建物名称	〇〇ビル				
特徴 (100文字以内)	空調方式：外周部は誘引ユニット方式、内周部は単一ダクト方式				
機能・効果 (100文字以内)	設備構成：〇〇製密閉形遠心冷凍機（4台）、〇〇製吸収式冷凍機（4台）、計5,670USRT〇〇製ウェザーマスター（2,675台）、パッケージ形空調機（18台）、空調機（45台）熱交換器類（40基）、冷却塔（8基）、送排風機（60台）				
記事	最上階（50階）に設置する遠心冷凍機の搬入は、新聞・テレビなどのマスコミで報道された。				
開発秘話など (100文字以内)	〇〇年度〇〇学会「〇〇賞」受賞				

■添付資料（写真）

以下の個所に写真・図等を次の操作で貼付けください。「挿入」→「図」→「ファイルから」

別添します。

A-XXX-001-001は、写真JPGです。

A-XXX-001-002は、施工図JPGです。

■資料の形式【資料番号は追番を付し電子データの添付はファイル名のルール※5参照】

追番	ファイル名称(電子データの場合)	資料/データの説明【添付図の解説をお願いします】
1	A-XXX-001-001	最上階 熱源機械室に設置された密閉形遠心冷凍機
2	A-XXX-001-002	基準階事務室 ペリカバー内部の機器・配管

■本ご提供資料に関するお問い合わせ先

御社名	〇〇〇〇 株式会社		
所属	〇〇部 〇〇開発課		
ご担当者	(正) 〇〇 〇〇	(副) 〇〇 〇〇	
ご連絡先	電話 XXX-XXX-XXX	内線 (XXXX)	
e-mail	(正) XXXX-XXXX@XXX-X.co.jp	(副)	

バーチャル科学館 HP構成に関する資料ご提供資料記入シート

記入に際してのお願い、下記のシート1枚につき1件の情報を記載ください。

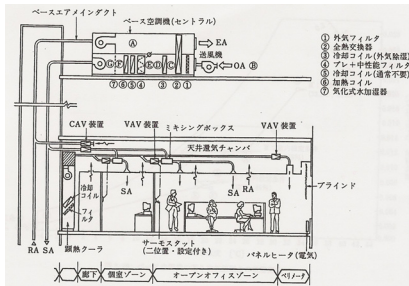
記入日	2008年10月30日	ご提供いただける資料分野	※2より選択	A	空調
-----	-------------	--------------	--------	---	----

■資料の概要

年・月	1990年7月 日	←年は西暦で記入月や日が不明な場合は記入不要です。		年代	※3より選択
分類	空調設備（空調）	コメント	事務室空調方式		
※4より選択					
商品名・工法システムなど (100文字以内)	ペアダクト空調方式				
建物名称	〇〇ビル（地上6階・地下1階）				
特徴 (100文字以内)	ベース空調機（単一ダクト定風量方式）と顕熱クーラー（顕熱処理専用、単一ダクト変風量方式）の2つの空調機で室内環境を制御する。ベース空調機は外気導入、空気清浄、除湿、加湿を行い、顕熱クーラーは内部発熱処理（冷房）を行う。				
機能・効果 (100文字以内)	メリット：ベース空調機により内部負荷量に影響されずに外気取り入れができる。冬期の室内冷房時にも吹出空気温度が高いため水加湿の制御性がよい。夏期の外気は冷却減湿後に室内空気と混合するため除湿制御性がよい。				
記事 開発秘話など (100文字以内)	単一ダクトの変風量方式の不都合を解消し室内の空気質の向上。室内環境を良好にしてプロダクティビティの向上を目指した。				

■添付資料（写真）

以下の個所に写真・図等を次の操作で貼付けください。「挿入」→「図」→「ファイルから」



次ページに拡大図を添付しました。

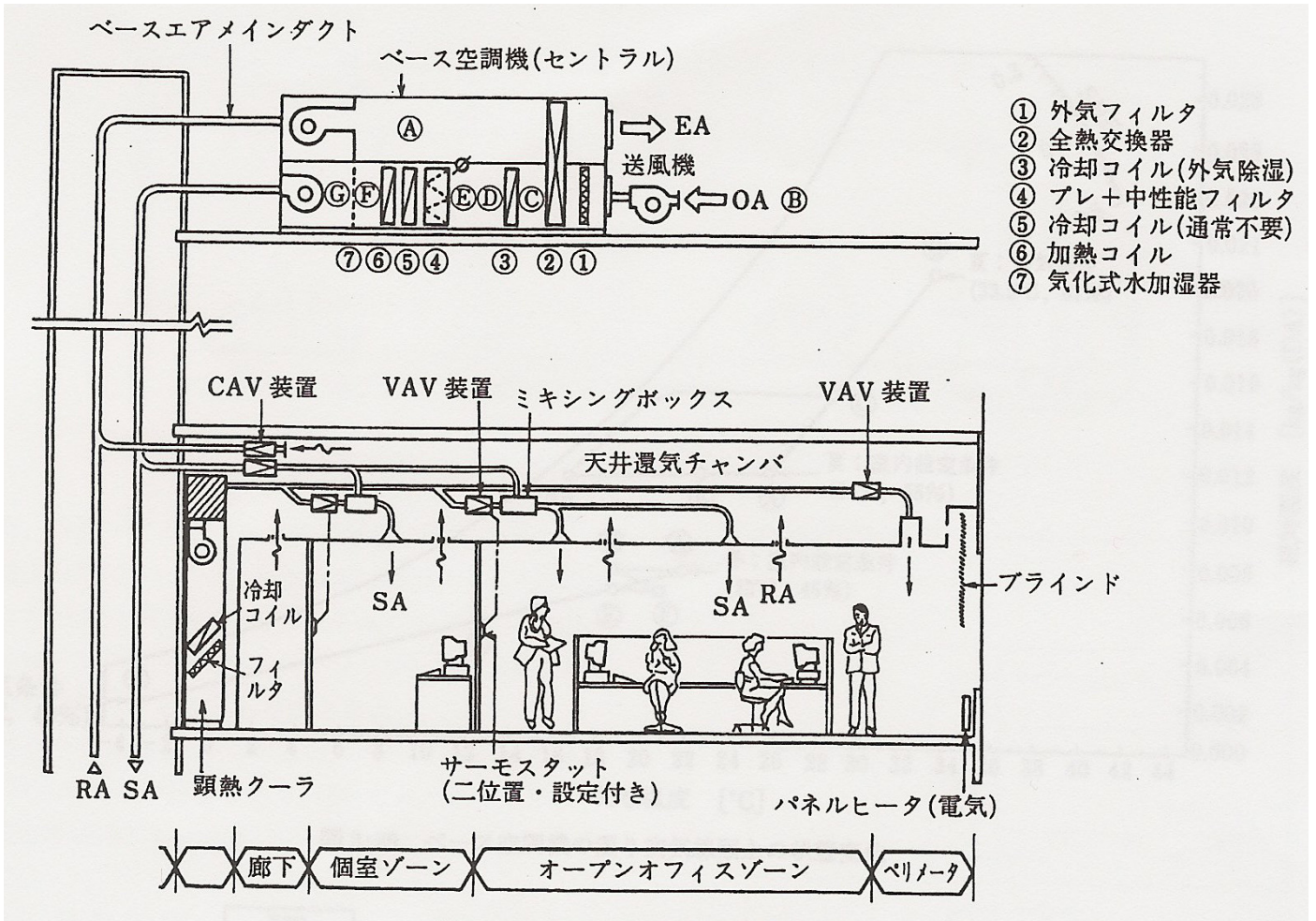
■資料の形式【資料番号は追番を付し電子データの添付はファイル名のルール※5参照】

追番	ファイル名称(電子データの場合)	資料/データの説明【添付図の解説をお願いします】
1	A-XXX-001-001	空調方式システムフロー図(JPG)

■本ご提供資料に関するお問い合わせ先

御社名	株式会社 〇〇設計事務所	
所属	設備設計部	
ご担当者	(正) 〇〇 〇〇	(副) 担当は他にいません
ご連絡先	電話 XX-XXX-XXXX 内線 ( XXXX )	
e-mail	(正) xxx-x@xxx.co.jp	(副)

空調方式システムフロー図を示す。



SAMPLE

貴社に記入していた箇所は、青文字で記載しています。

バーチャル科学館 HP構成に関する資料ご提供資料記入シート

記入に際してのお願い、下記のシート1枚につき1件の情報を記載ください。

記入日	2008年10月30日	ご提供いただける資料分野	※2より選択	P衛生
-----	-------------	--------------	--------	-----

■資料の概要

年・月	198X年 月 日	←年は西暦で記入月や日が不明な場合は記入不要です。		年代	1980年代
分類	材料・工法（衛生）	コメント	集合住宅における給水・給湯配管の新工法として普及		
※4より選択					
商品名・工法システムなど (100文字以内)	さや管ヘッダー工法				
建物名称	〇〇〇〇〇〇〇 (19××年竣工)				
特徴 (100文字以内)	衛生的で耐久性・耐食性・更新性に優れ、工期短縮・施工技術の平準化が図れる。				
機能・効果 (100文字以内)	住宅・都市整備公団（現住都公団）にも採用され、現在の集合住宅において主流となっている。				
記事 開発秘話など (100文字以内)	当初ガス配管に採用され、その後給水・給湯配管の工法として開発。架橋ポリエチレン管・ポリブデン管が使用され、さや管工法の他にさや管を用いない「分岐管工法」				

■添付資料（写真）

以下の個所に写真・図等を次の操作で貼付けください。「挿入」→「図」→「ファイルから」

添付ファイルの資料を参照ください。

■資料の形式【資料番号は追番を付し電子データの添付はファイル名のルール※5参照】

追番	ファイル名称(電子データの場合)	資料/データの説明【添付図の解説をお願いします】
1	P-XXX-001-001	さや管ヘッダー工法例 (JPG)

■本ご提供資料に関するお問い合わせ先

御社名	〇〇〇〇 株式会社		
所属	〇〇製造部 〇〇開発課		
ご担当者	(正) 〇〇 〇〇	(副) 担当はいません。	
ご連絡先	電話	XXX-XXX-XXX	内線 (XXXX)
e-mail	(正)	XXXX-XXXX@XXX-X.co.jp	
	(副)		

バーチャル科学館 HP構成に関する資料ご提供資料記入シート

記入に際してのお願い、下記のシート1枚につき1件の情報を記載ください。

記入日	2008年10月30日	ご提供いただける資料分野 ※2より選択	P衛生
-----	-------------	---------------------	-----

■資料の概要

年・月	2001年 5月 日	←年は西暦で記入月や日が不明な場合は記入不要です。		年代 ※3より選択	2000年代
分類 ※4より選択	給湯設備（衛生）	コメント			
商品名・工法システムなど (100文字以内)	エコキュート				
建物名称	○○○○○○○（2000年竣工）				
特徴 (100文字以内)	自然冷媒（CO2）を採用したヒートポンプ方式の給湯機で、90℃の高温出湯が可能。				
機能・効果 (100文字以内)	安価な深夜電力を利用して効率的にお湯を沸かすため、ランニングコストが抑えられる。				
記事 開発秘話など (100文字以内)	CO2冷媒を100気圧に圧縮するため、コンプレッサ（圧縮機）に高度な密閉技術の開発が不可欠であった。また、夜間運転での静粛性も必須であった。				

■添付資料（写真）

以下の個所に写真・図等を次の操作で貼付けください。 「挿入」→「図」→「ファイルから」

なし

■資料の形式【資料番号は追番を付し電子データの添付はファイル名のルール※5参照】

追番	ファイル名称(電子データの場合)	資料/データの説明【添付図の解説をお願いします】

■本ご提供資料に関するお問い合わせ先

御社名	○○○○ 株式会社		
所属	○○製造部 ○○開発課		
ご担当者	(正) ○○ ○○	(副) 担当はいません。	
ご連絡先	電話	XXX-XXX-XXX	内線 (XXXX)
e-mail	(正)	XXXX-XXXX@XXX-X.co.jp	
	(副)		

バーチャル科学館 HP構成に関する資料ご提供資料記入シート

記入に際してのお願い、下記のシート1枚につき1件の情報を記載ください。

記入日	2008年10月30日	ご提供いただける資料分野	※2より選択
-----	-------------	--------------	--------

■資料の概要

年・月	1963年 月 日	←年は西暦で記入月や日が不明な場合は記入不要です。		年代	1960年代
分類	受変電設備（電気）	コメント			
※4より選択					
商品名・工法システムなど (100文字以内)	高圧真空遮断器				
建物名称	○○○○○○○○○○ (1960年竣工)				
特徴 (100文字以内)	①保守性・経済性に優れている。 ②防災性、安全性に優れている。 ③小型軽量、駆動方式「蓄勢バネ操作」が優れている。				
機能・効果 (100文字以内)	①高圧遮断器では、1963年に真空バルブ（図-1）が出現し、65年頃VCB（写真-1）の幕開けとなる。1970年代後半から生産台数では主流となった。 ②遮断部が真空容器内であり、消弧装置をもたない。				
記事 開発秘話など (100文字以内)	VCBは1950年代にGE社を中心に開発され、1960年代半ばに商品化された。開発当時から遮断時のサージの問題があったが、これについてはわが国が世界をリードして研究開発を行い、1980年代にはサージの問題はほぼ収束した。				

■添付資料（写真）

以下の個所に写真・図等を次の操作で貼付けください。「挿入」→「図」→「ファイルから」

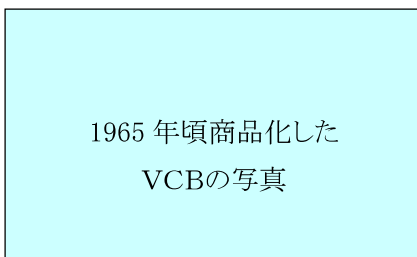


写真-1 1965頃のVCB(7.2kV-400A)

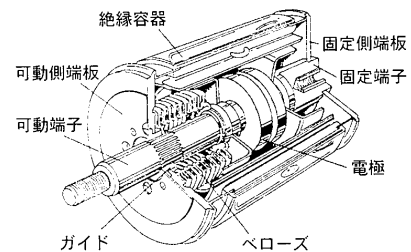


図-1 真空バルブの構造

■資料の形式【資料番号は追番を付し電子データの添付はファイル名のルール※5参照】

追番	ファイル名称(電子データの場合)	資料/データの説明【添付図の解説をお願いします】
1	E-XXX-001-001	写真-1 1965頃のVCB(7.2kV-400A)(jpg)
2	E-XXX-001-002	図-1 真空バルブの構造(jpg)

■本ご提供資料に関するお問い合わせ先

御社名	株式会社 ○○	
所属	○○○○製造部 ○○開発設計課	
ご担当者	(正) ○○ 電次郎	(副) 担当はいません
ご連絡先	電話 XXX-XXX-XXX 内線 (XXXX)	
e-mail	(正) XXXXXX23@XXXX-XX.co.jp	(副)

バーチャル科学館 HP構成に関する資料ご提供資料記入シート

記入に際してのお願い、下記のシート1枚につき1件の情報を記載ください。

記入日	2008年10月30日	ご提供いただける資料分野 ※2より選択	L 搬送
-----	-------------	---------------------	------

■資料の概要

年・月	1957年7月 日	←年は西暦で記入月や日が不明な場合は記入不要です。	年代 ※3より選択	1950年代
分類 ※4より選択	エレベーター (搬送)	コメント	運転制御システムとなります	
商品名・工法システムなど (100文字以内)	全自動群管理システム (輸送形式自動選択式全自動群管理)			
建物名称	通称 : ○○ビル 1957年7月27日 - 地上10階・地下3階の○○新○○駅・○○百貨店全館が完成。			
特徴 (100文字以内)	従来エレベーターの運転を各階の呼びに応じて運転していた場合のだんご運転状態の弊害が手動出発信号方式という人為的な出発管理者による運転を行っていた。しかし、交通の混雑するビルの場合サービスが改善されなかった。これを交通の需要に変化を捉えて自動的に運転する方式とした。			
機能・効果 (100文字以内)	一周運転方式を基本とし、交通状態の変動に合わせて適切な輸送形式 (トラフィックパターン) を適宜選択して適用する方式。			
記事 開発秘話など (100文字以内)	当初は、手動で選択する方式であったが、その後交通の変化を捉えた自動的に選択する方式になった。			

■添付資料 (写真)

以下の個所に写真・図等を次の操作で貼付けください。 「挿入」→「図」→「ファイルから」

なし

■資料の形式【資料番号は追番を付し電子データの添付はファイル名のルール※5参照】

追番	ファイル名称 (電子データの場合)	資料/データの説明【添付図の解説をお願いします】
1	L-XXX-001-001	参考資料 : 三菱電機技報 vol141, No. 7, 929~938 (1967)
2	L-XXX-001-002	参考資料 : 三菱電機技報 vol144, No. 8, 1025~1037 (1970)

■本ご提供資料に関するお問い合わせ先

御社名	三菱電機株式会社		
所属	○○事業部 ○△□部 △□技術課		
ご担当者	(正) ○○ ○○	(副) 担当は他にいません	
ご連絡先	電話 123-4567-9876 内線 ( 2568 )		
e-mail	(正) kawai-XXXX@XXX-XX.co.jp	(副)	

バーチャル科学館 HP構成に関する資料ご提供資料記入シート

記入に際してのお願い、下記のシート1枚につき1件の情報を記載ください。

記入日	2008年10月30日	ご提供いただける資料分野 ※2より選択	L 搬送
-----	-------------	---------------------	------

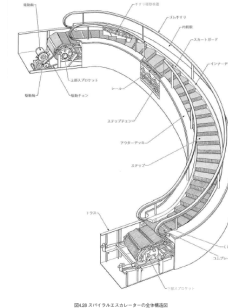
■資料の概要

年・月	1985年3月 日	←年は西暦で記入月や日が不明な場合は記入不要です。		年代 ※3より選択	1980年代
分類 ※4より選択	エスカレーター (搬送)	コメント	世界ではじめての実用化した曲がったエスカレーター		
商品名・工法システムなど (100文字以内)	三菱スパイラルエスカレーター				
建物名称	〇〇市のショッピングセンター (〇〇) に取付けられた。〇〇は、1985年3月に開業した都市型百貨店とスーパーマーケットの2核をもつ、延床面積55,500m <sup>2</sup> の県下最大の商業施設です。				
特徴 (100文字以内)	直線のエスカレーターを円筒の回りに巻きつけたような外観でステップが螺旋曲線そって上昇及び下降する。				
機能・効果 (100文字以内)	中心移動方式によって、構造上の問題が、平面的に見て水平部と中間部で異なった中心を持ち				
記事 開発秘話など (100文字以内)	1900年頃にはこのアイデアはあった。しかし、技術的な難しさである、ステップの、上昇降区間では螺旋運動を行い、上部と下部の乗降部では水平な円運動を行う機構を連続させて駆動するメカニズムの実現が3次元的な形状を確認することで実現が可能になった。				

■添付資料 (写真)

以下の個所に写真・図等を次の操作で貼付けください。 「挿入」→「図」→「ファイルから」

詳細図は、次ページに貼りこみました。



■資料の形式【資料番号は追番を付し電子データの添付はファイル名のルール※5参照】

追番	ファイル名称(電子データの場合)	資料/データの説明【添付図の解説をお願いします】
1	L-XXX-002-001	参考資料：三菱電機技報 vol58, No. 12, (1984) (PDF ファイル)
2	L-XXX-002-002	スパイラルエスカレーターの構造図 (PDF ファイル)
3	L-XXX-002-003	スパイラルエスカレーターの平面図 (PDF ファイル)
4	L-XXX-002-004	スパイラルエスカレーターの設置写真 (JPG ファイル)

■本ご提供資料に関するお問い合わせ先

御社名	三菱電機株式会社	
所属	〇〇事業部 〇△部 △技術課	
ご担当者	(正) 〇〇 〇〇	(副) 担当は他にいません
ご連絡先	電話 123-4567-9876 内線 ( 2568 )	
e-mail	(正) kawai-XXXX@XXX-XX.co.jp	(副)



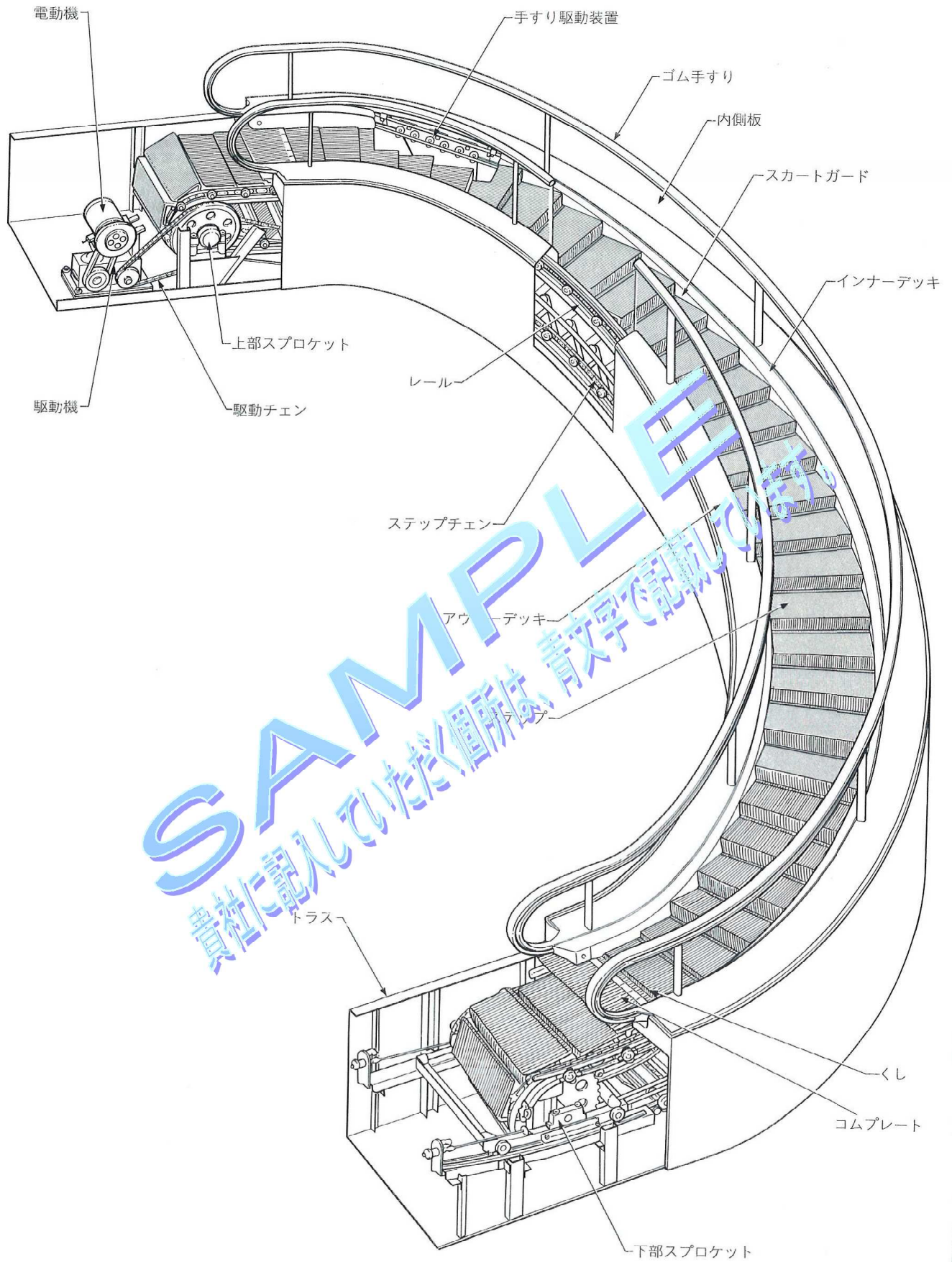


図4.28 スパイラルエスカレーターの全体構造図

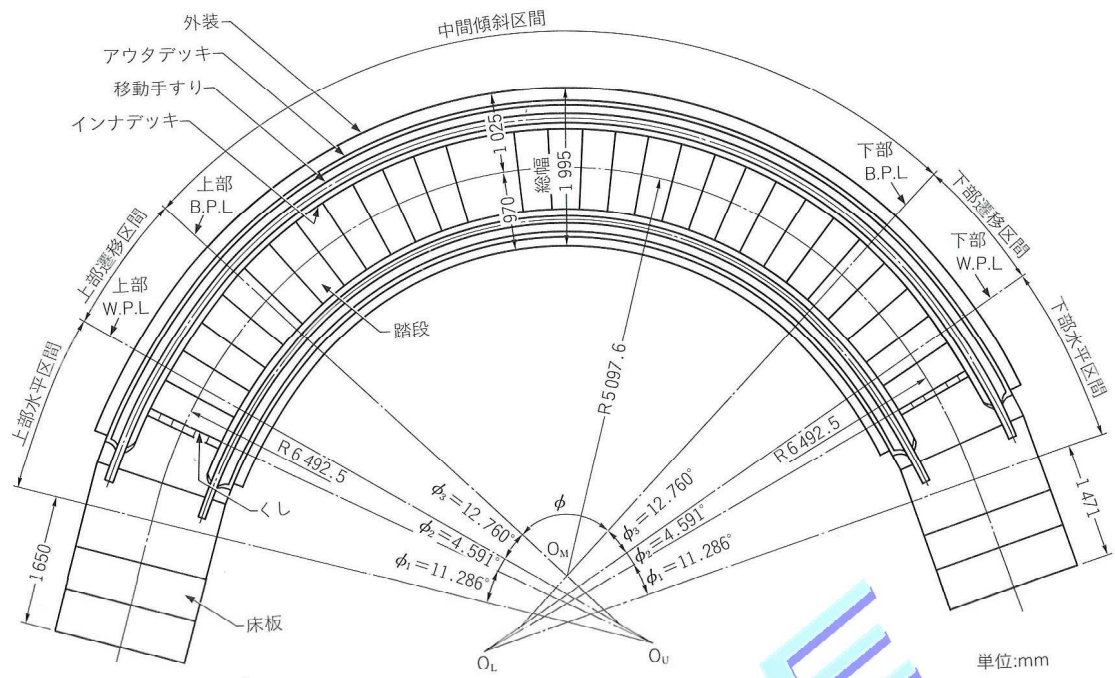


図4.27 平面外形図



図 三菱スパイラルエスカレーター  
(四日市スターアイランド)